

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成25年9月5日(2013.9.5)

【公表番号】特表2012-533863(P2012-533863A)

【公表日】平成24年12月27日(2012.12.27)

【年通号数】公開・登録公報2012-055

【出願番号】特願2012-521142(P2012-521142)

【国際特許分類】

H 05 B 37/02 (2006.01)

【F I】

H 05 B 37/02 D

【手続補正書】

【提出日】平成25年7月17日(2013.7.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも1つの光源と、前記少なくとも1つの光源に結合されている制御可能な光源ドライバであって、電流源によって生成される入力制御電圧に従って前記少なくとも1つの光源に電力を供給する光源ドライバと、照明ユニットの目標領域における光束を測定する光センサであって、前記電流源に結合されていると共に、前記光束に対応する可変コンダクタンスを有し、前記光センサへの入射光が減少する場合、前記光センサのコンダクタンスが減少し、前記光センサ上に対する入射光線が増大する場合、前記光センサのコンダクタンスが増大する光センサと、を有し、前記目標領域をそれぞれ照明する、複数の照明ユニットと、

調節可能なコンダクタンスを有する調光要素であって、前記の各光センサが対応するダイオードを介して並列に結合されている調光要素と、  
を有する照明システム。

【請求項2】

前記ダイオードの陽極が、前記光センサに向けられる、請求項1に記載の照明システム。

【請求項3】

前記ダイオードの陰極が、前記調光要素に向けられる、請求項1に記載の照明システム。

【請求項4】

前記調光要素が可変抵抗又は電位差計である、請求項1に記載の照明システム。